
詩夢

九条 眠

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

詩夢

【Nコード】

N1905Y

【作者名】

九条 眠

【あらすじ】

恋の詩。

私とあなた

ぼくと君

がでています

ペールをめくったのは・・・

誰かしら？

私の心のペールをそつとめくったのは

私は知ってる

あなたが誰か知ってる

だけど、まだ名前は呼べない

なんでだかわかる？

だってね、だって・・・

だって、めくったあとに

あなたはどこかへ行っちゃったから

呼んでほしいからどこかへ行ったの？

それならお門違い

なんでだかわかる？

私はね、私は・・・

私は堂々としているときのあなたが

世界で一番好きなんだから

どこにも行かないで

ここに居てくれたら

永久にあなたを呼んであげる

あなたが望むのならば

そつと囁く・・・

そつと囁く、耳元で

かすかに通った私の声

あなたは聞こえましたか？

風に紛れて聞こえませんでしたか？

聞こえていてください

私は祈ります

じゃなかったら

明日どうすればいいの？

無理ですよ

会えなくなったら悲しくて

会えたら会えたで辛くなって

どうすればいいかわかりません

教えてください

あなたの心

あなたの想い

あなたのすべてを

私に教えてください

ここでとどまっていたら

永遠に終わり

ずっとずっと

だから進む

教えてください

そつと囁く。そつと弦く。

あなたには聞こえていないのでしょうか？

私にはわからない。

教えてください

そつと囁く・・・

君を待つとき・・・

君が向こうから何か言っているのを

僕はいつも黙って見ていた。

君は僕より小さいから

歩くのも遅いし、走るのだって遅い。

だけど、そんな君を遠くから見ながら待つのが

僕は何より楽しかった

もちろん君という時間と同様に

頑張っている姿

その姿ほど人間が輝く瞬間を

僕は知らない

とても美しい

だけど、僕は君に言葉では表現できない思いを持っている。

優しさと暖かさと

それと同等の冷たさを持つ君が

誰よりなにより

大切だよ

そばにいてほしい

ずっとずっと

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1905y/>

詩夢

2011年11月6日11時24分発行